

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域コミュニティ交通導入モデル事業			120160	担当課	生活交通課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成30(2018)	作成責任者	井上 浩人			
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)交通対策費	決算附属資料	82	頁		
	施策の大綱	公共交通の最適化			関連計画等	-			
	施策名	公共交通のネットワークを充実させる			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	平成27年度に策定した、まちづくり施策と一体となった公共交通再編の基本方針となる「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づき、地域の実情やニーズに適した効率的・効果的な交通体系の整備・再編を現在進めている。その一環として、バス路線の再編に伴う補完交通として、また鉄道やバス路線から離れた公共交通空白地における移動手段を確保することを目的とした「公共交通空白地有償運送事業」の導入を推進するため、支援内容や適正な運行のあり方について検証を行うことを目的とする。							
	対象者	公共交通空白地有償運送利用者数	対象者数	3,370	一人当たりコスト	1.56			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 三和地域協議会							
	事業概要	三和地域において、市バスの利用率が低い便の削減や路線の短縮等の運行内容の見直しを行うと同時に、三和地域協議会が実施する公共交通空白地有償運送事業を地域コミュニティ交通導入のモデル事業として位置づけ、運送に要する経費を支援する。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		団体補助		三和地域協議会が行う有償運送事業に対する支援			758		
使用料及び賃借料		地元説明会会場使用料			5				
関連事業	交通空白地域移送サービス支援事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		0	1,187	1,485			
		補正予算・・・②		0	5	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		0	5	0			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	742			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	1,187	743			
		特定財源名称(H29実績)		地域でつくり・支える公共交通システム支援費補助金		370	府補助金	22	頁
			地域コミュニティ交通導入モデル事業基金繰入		340	基金繰入金	38	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.51/0	0.51/0			
概算人件費・・・④		0	4,080	4,080					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	5,272	5,565				
執行状況	執行額・・・⑥		0	763					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	64.0%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		新たな移動手段の導入・試行件数	件	-	1/6	/6	6		
				/	/	/			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		有償運送利用者数(1日当たり)	人	-	2/5	/5	5/5		
		単位あたりコスト		-	381.5				
			/						
		単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	公共交通空白地等の交通不便地域の移動手段の確保は今後ますます需要が高まるものであり、公共交通の再編を進める上で必要不可欠であるため、その導入に向けての基本方針となる本事業の必要性は極めて高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	現在の事業内容が適当かどうかを検証することによって、事業内容の適正を判断するものであり、効率的な事業である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	事業実施にあたり、他地域の先進事例等も参考にした上で、実施団体、対象地域、その他関係者と十分調整を行っており、その有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	本事業については実証実験として実施しているが、稼働日1日当りの利用状況は2.8回程度と当初見込みを下回っており、利用拡大に向けた取り組みを行って行く必要がある。今後、事業内容を検証する中で適正な運行のあり方を確認していく。	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業については実証実験であり、事業内容を検証し、本格運行或いは他地域での運行につなげていかなければならない。</li> <li>・本事業の実施内容を検証し、支援内容のあり方を含め地域コミュニティ交通導入に向けてガイドラインを作成する。</li> </ul>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用状況から、実際のニーズと利用のあり方、費用及び料金設定について検証することが目的。</li> <li>・他の方策を導入する場合の試算も含め、早め早めに動向を把握し分析を進めること ⇒ 1人の移送のためにかかる費用をいくらに留められるかが問題(H29は約4,000円/人)</li> <li>・H30の利用状況を受けて、継続の可否を判断すること — 単純に補助金を増額して継続としないように</li> <li>・延191人(10月～3月)が利用(H29下半期、ただし土日祝は休)であり、期待より少なかった。</li> <li>・タクシー、バスの料金との兼ねあいもあり、極端な値下げも難しい</li> <li>・H30年度までのモデル事業なので、実証をしっかりと行って、今後のあり方を含め検討をお願いしたい</li> <li>・効果が見えないまま続くことがないように</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</li> <li><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</li> </ul>	<p style="text-align: center;">内 容</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</li> <li><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 拡充</li> </ul>	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	